

令和5年2月1日

各区・自治会長 様

三田市環境創造課

衛生害虫防除用薬剤の配布について

平素は、市の環境衛生対策の推進に格別のご尽力を賜り、厚くお礼申しあげます。

貴区・自治会において衛生害虫の発生を防ぐために、集団衛生害虫防除活動を実施される場合、薬剤を配布させていただきますので下記の事項をご確認のうえ、お申込みいただきますようお願いいたします。

記

1 送付文書

- (1) 衛生害虫防除用薬剤配布実施のお願い（裏面）
- (2) 衛生害虫防除用薬剤申込書（別紙1）
- (3) スミラブ発泡錠剤の特長・使用方法（別紙2）

2 申込み期限 令和5年2月24日（金）※ 厳守願います。

3 配布時期 令和5年3月下旬頃（郵送等による）

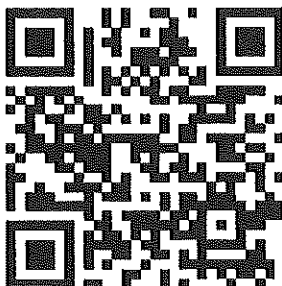
4 その他

薬剤配布希望申込については、裏面の「衛生害虫防除用薬剤配布実施のお願い」の趣旨をご理解いただいたうえ申込みいただきますようお願いいたします。

・申込書の提出は郵送、FAX、スマートフォンをお持ちの方は下記の二次元コードを読み取って申し込みをお願いします。

フォームの URL (インターネット)

<https://logoform.jp/form/hyogo-sanda/64501>



申請書提出先・連絡先

〒669-1595 三田市三輪二丁目1番1号

三田市 環境創造課 担当 岸田・山本

TEL559-5080 Fax563-3359

衛生害虫防除用薬剤配布実施のお願い

1 趣旨

この衛生害虫防除用薬剤は、水が溜まりやすい水路やその他周辺環境に影響がある水路などの衛生害虫の発生を防ぐために、区・自治会における集団衛生害虫防除活動に対して配布しているものです。

2 薬剤及び薬剤散布について

(ご留意いただきたいこと)

- ◆ 申請の個数については、雨水マス等の箇所×3～4回分（5月～8月頃）程度で計算して下さい。

※別紙2 スミラブ発泡錠の使用方法をご参照下さい。

- ◆ 保管場所につきましては、子どもや犬、猫などが触れることができない場所をお願いします。

※子どもや犬、猫などがスミラブ発泡錠に触れた手を舐める程度では問題ありませんが、取り扱いには留意ください。

- ◆ 散布場所は原則、公共の雨水マス、側溝、水路、汚水溜等です。

- ◆ 薬剤を散布することで幼虫・さなぎに作用して変態を抑制し、成虫になれなくさせて死亡させる発生防除用薬剤です。このため、ハエ、蚊等の成虫の駆除には効果はありませんので、草むらや木々への噴霧には向いていません。

3 配布数量について

予算の上限があり、申請数を配布できない場合がありますのでご了承下さい。

4 薬剤の使用残が出た場合について

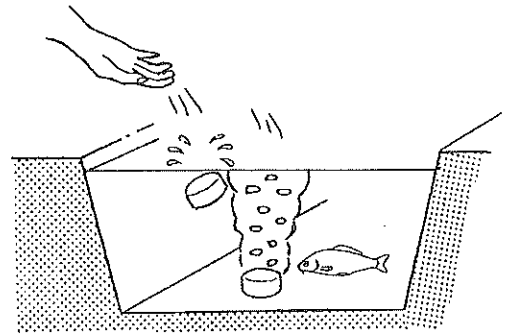
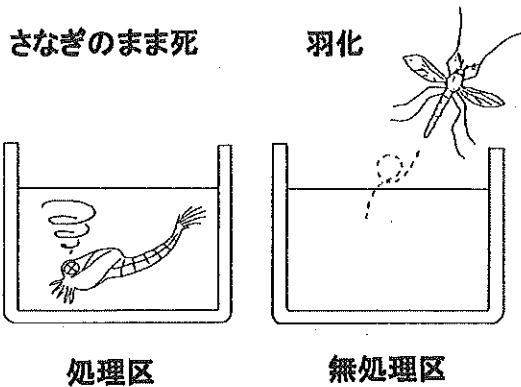
- ・未開封の錠剤については、来年に使用することが出来ますので、子どもや犬、猫等の触れない乾燥したところで保管してください。
- ・過去の液体薬剤（ザーテル・SV油剤・スミチオン）で不要になったものは、市では引き取りしませんので、貴団体で適正に処分してください。

スミラブ発泡錠(2g錠)について

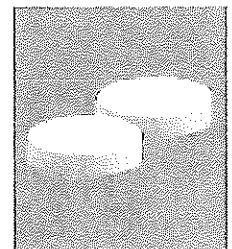
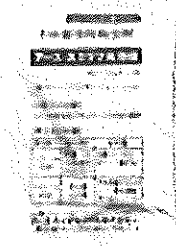
1. 特長

- 害虫の幼虫・さなぎに作用して成虫(親)になれなくさせ死亡させます。

- ほ乳動物や魚介類に対して安全性の高い薬剤です。また、臭いや色もほとんどありません。



- 水中に投入すると炭酸ガスを発生しながら溶け、隅々まで拡散します。

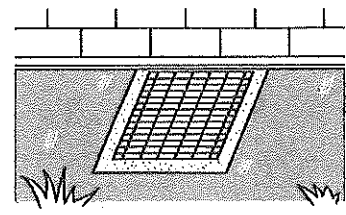


スミラブ発泡錠(2g錠)

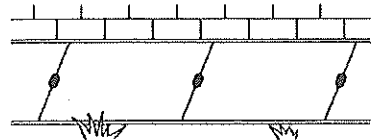
- 約1カ月の長期間効果が持続します。

2. 散布時期

- 成虫の発生が多くなる前に散布するとより効果的です。



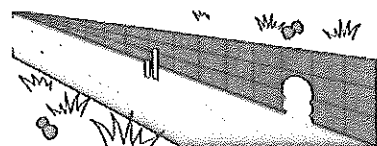
雨水マス



側溝

3. 散布場所

- 雨水マス、側溝、水路、流溜、汚水溜など。



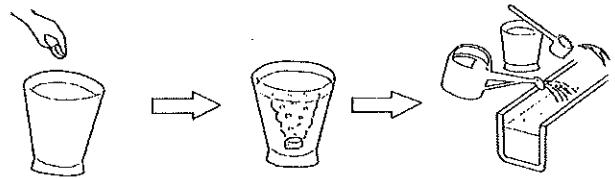
水路

4. スミラブ発泡錠(2g錠)の使用法

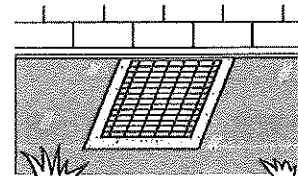
適用害虫	適用場所	使用量
ユスリカ幼虫	雨水マス、側溝、水路、流溜	水量100~150Lあたり1錠を投入する
チョウバエ幼虫	汚水溜	汚水表面0.1㎡あたり1錠(およそ50cm四方に2~3錠)を適量の水に溶かして散布する

○流れのほとんどない所や雨水マスで使用する場合

バケツなどに約2~4Lの水を入れ、スミラブ発泡錠1錠を溶かし、ジョウロやヒシヤクで発生源の水域全体に散布する。



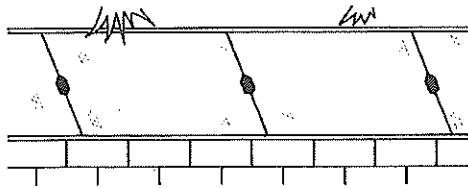
雨水マスに使用する場合は、約2~4か所に散布できます。



(2~4か所の雨水マスに使用可)

○側溝に散布する場合

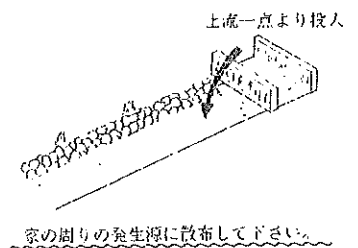
降雨時に溜まる水深を想定して、右表を目安に直接散布する。流れがほとんどない側溝で使用する場合も薬剤量の目安を参考にしてください。



側溝幅	深さ	薬剤量の目安
30cm	5cm	10mごとに1錠散布
	10cm	6mごとに1錠散布
	15cm	3mごとに1錠散布
50cm	5cm	7mごとに1錠散布
	10cm	3mごとに1錠散布
	15cm	2mごとに1錠散布

○流れのある所や水量の多い所で使用する場合

1時間あたりの流水量1トンに対して6~9錠を発生している水域の上流部よりそのまま投入してください。(例えば水路幅20cm、水深5cm、流速5cm/秒の水路では11~16錠投入してください。)



$$1\text{時間流水量(トン)} = \text{水路幅(m)} \times \text{水深(m)} \times \text{流速(m/秒)} \times 3,600\text{秒}$$

スミラブ発泡錠 (分包) Q&A

Q1 ユスリカ・チョウバエ幼虫の防除を目的とした用法・用量を教えてください。

スミラブ発泡錠 2錠 (2g×2) 分包の使用方法

適用害虫	使用場所	使用量
ユスリカ幼虫	雨水マス、側溝、水路、流溜	水量100～150Lあたり1錠 (有効成分0.067～0.1ppm) を投入する。
チョウバエ幼虫	汚水溜	汚水表面0.1㎡あたり1錠 (およそ50cm四方に2～3錠) を適量の水に溶かして散布する。

Q2 雨水マスに投入してから、どの程度の期間、有効性が持続しますか。

有効成分ピリプロキシフェンの水中での半減期は2～3週間程度ですので、完全な静止水域の場合、スミラブ発泡錠を用法・用量に従い投入または散布すれば、1カ月程度は有効性が持続するものと考えます。しかし、雨水マスには降雨などにより大量の水の流入出がありますと有効成分が希釈され、効力が低下あるいは消失してしまうこととなりますので、ご注意ください。

Q3 使用后、降雨があった場合はどうなりますか。

スミラブ発泡錠を使用して数日経過した後に降雨があった場合、1～2週間程度、ユスリカの発生状況を観察し、ユスリカの発生が確認されるようでしたら、再度、スミラブ発泡錠を使用してください。また、スミラブ発泡錠を使用した直後に大量の降雨があった場合は、降雨による増水が収まった後に再度、スミラブ発泡錠を使用してください。

Q4 流水域に使用した場合、錠剤は流されてしまいませんか。

流水域にスミラブ発泡錠を使用しますと、流れの速い場所では有効成分が流されてしまいます。そのような場合は、ユスリカの発生源と思われる場所の上流にスミラブ発泡錠を投入してください。なお、流れの遅い場所では有効成分は底部に沈着しますので、ユスリカの発生源と思われる場所にスミラブ発泡錠を投入することで問題ありません。

Q5 環境への負荷はありませんか。水中、土壌中における分解能はどの程度ですか。

有効成分ピリプロキシフェンにつきましては、水中での半減期は2～3週間程度、好氣的条件下の畑地土壌での半減期は6日程度となりますので、長期にわたる連用を避ければ、環境への負荷は少ないものと考えます。

Q6 植物への影響はありませんか。

有効成分ピリプロキシフェンは、諸外国で野菜、果物や花卉の農薬として登録されており、日本におきましてもきゅうりやなすなどの野菜、ポインセチアなどの花卉、茶の農薬として登録されています。野菜、花卉ではピリプロキシフェン10%製剤を1,000～2,000倍に希釈(50～100ppm)、茶ではピリプロキシフェン9%製剤を1,000倍に希釈(90ppm)して使用されています。スミラブ発泡錠を用法・用量に従い使用した場合の濃度(0.067～0.1ppm)は、これら農薬の使用濃度と比較して明らかに低いため、スミラブ発泡錠を使用することで植物に悪影響を及ぼす可能性は極めて低いと考えます。

Q7 子供や犬、猫などが触ったり、舐めたりしても問題ありませんか。

有効成分ピリプロキシフェンのラットにおける急性経口毒性試験では、最大無作用量が 1,000mg/kg と報告されています。1,000mg/kg のピリプロキシフェンはスミラブ発泡錠 (10mg/錠) 約 100 錠に相当し、体重 5kg では約 500 錠、体重 10kg では約 1,000 錠を一度に摂取した場合においても影響はないということになります。そのため、子供や犬、猫などがスミラブ発泡錠に触れた手を舐める程度では問題ないと思われませんが、保管場所につきましては、子供や犬、猫などが触れることができない場所にしてください。

Q8 井戸水に流れた場合、影響はありますか。

有効成分ピリプロキシフェンの許容一日摂取量は 0.1mg/kg/day です。つまり、体重 60kg のヒトであれば、1 日あたり 6mg のピリプロキシフェンを一生涯にわたって毎日摂取し続けても、現時点のあらゆる知見からみて、認められる健康への悪影響がないと推定されます。

スミラブ発泡錠を用法・用量に従い使用した場合、ピリプロキシフェンの水中濃度は最高で 0.1ppm です。この処理水をもって 6mg のピリプロキシフェンを摂取するには 60kg 飲水する必要があるため、これだけの水をヒトが摂取することは通常不可能です。

従いまして、スミラブ発泡錠を用法・用量に従い使用すれば、ヒトに対する影響は極めて低いと考えられますが、井戸水に流入する場所への使用は避けてください。

Q9 コイや水生昆虫に対して影響はありますか。

有効成分ピリプロキシフェンの水生生物に対する毒性は下記表のとおりとなります。

ピリプロキシフェンの水生生物に対する毒性

水生生物名	毒性
コイ	LC ₅₀ (96 時間) : 0.615ppm
ミジンコ	1.0ppm で影響なし
シオミズツボムシ	0.1ppm で影響なし
ネキトンボ若虫	LC ₅₀ : 10ppm
シオカラトンボ幼虫	10ppm で影響なし
ゲンジボタル幼虫	5~50ppm で影響なし

LC₅₀ 値 : 50% 致死濃度

スミラブ発泡錠を用法・用量に従い使用した場合、処理水の有効成分濃度は 0.067~0.1ppm となりますので、スミラブ発泡錠を用法・用量に従い使用すれば、コイやトンボ、ホタルなどの水生昆虫に対して悪影響は認められません。

Q10 対象外の昆虫に対して影響はありますか。

有効成分ピリプロキシフェンのミツバチに対する毒性は LD₅₀ > 0.1mg/bee となります。

(LD₅₀ 値 : 50% 致死量)

スミラブ発泡錠を用法及び用量に従い使用した場合、有効成分濃度は 0.067~0.1ppm となり、この処理水であれば、ミツバチ 1 匹に対し約 1.0~1.5L を直接滴下することに相当しますので、ミツバチに対して悪影響を及ぼすことは極めて低く、他の昆虫に対しても同様であると推察します。

しかし、有効成分ピリプロキシフェンは昆虫成長制御剤となりますので、長期連用などの乱用は避け、用法・用量に従い、正しく使用してください。

スミラブ発泡錠剤の特性

- ・ **形状**

錠剤タイプ（1袋に2g錠×2個入り）

- ・ **効能**

ユスリカ幼虫・チョウバエ幼虫・蚊等の幼虫の駆除

- ・ **有効成分ピリプロキシフェン配合**

昆虫成長制御剤ピリプロキシフェンが、蚊やハエの幼虫・さなぎに作用して変態を抑制し、成虫になれなくさせて死亡させる発生抑制の薬剤です。

- ・ **効果の持続性**

約1ヶ月の長期期間効果が持続します。このため、梅雨前頃など成虫の発生が多くなる前に散布すると効果的です。

- ・ **安全性**

従来の有機リン系殺虫剤に比べ、哺乳類、魚類、その他有用動物に対する毒性が極めて低い薬剤です。また、臭いや色もほとんどなく安心してお使いいただけます。

- ・ **拡散性**

発泡性の基材を用いて錠剤化しているため、水中に投入すると炭酸ガスを発生しながら溶け、隅々まで拡散します。

- ・ **使用方法**

錠剤の直接投入と、水に溶かしてから使用することも可能です。（3～5分で溶けます）。

- ・ **薬剤の袋に記載されている【使用上の注意】をよく読んでご使用ください。**

- ・ 定められた使用方法を厳守すること。
- ・ 使用後は必ず、また薬剤が皮膚に付いた時は直ちに石けんと水でよく洗うこと。
- ・ 万一、誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診療を受けること。

- ・ **保管方法**

食品、食器、飼料などと区別し、小児の手の届かない場所で保管してください。

衛生害虫防除用薬剤申込書

三田市長 あて

区・自治会名 _____

代表者氏名 _____

電話番号 _____

下記のとおり薬剤の配布を申し込みます。

1 希望数量 _____ 袋 (1袋2g・2個入り)

2 配布先 千 住 所 _____

氏 名 _____

電話番号 _____

※上記薬剤は令和5年3月下旬までに郵送等により配布する
予定です。役員変更を考慮のうえ、配布先をご記入ください。

3 薬剤散布計画 (前回より申込み数が多い場合はできる限りご記入くだ
さいますようお願いいたします。別紙可)

回答期限:令和5年2月24日(金) ※厳守願います。(FAX可)

※スマートフォンをお持ちの方は、「衛生害虫防除用薬剤の配布につ
いて」文書下方の二次元コードを読み取って申し込みをお願いし
ます。

※FAXの申込の場合は、送付確認の電話連絡をお願いします。

【問合せ送付先】環境創造課

TEL : 079 (559) 5080

fax : 079 (563) 3359

担当: 岸田・山本